

南阿蘇村商工会

■阿蘇地区商工会青年部 合同研修会の開催

2月21日に阿蘇地区商工会青年部の合同研修会が南小国町役場のきよらホールにて開催されました。

本研修会は、阿蘇地区から7市町村の青年部が集結し、主張発表大会や講演会を行い、青年部員の資質向上および部員間の連携力強化を図るものです。

研修会の目玉となる若い経営者の主張発表大会には、各青年部から選出された代表者が10分間の発表を行い、最優秀賞、優秀賞、努力賞を決定します。最優秀賞の受賞者は夏に開催される、熊本県商工会青年部連合会の県大会にて阿蘇地区代表として発表することになります。

今年は、合同会社大望の大塚祐哉部員が村代表として発表しました。大塚部員は現在、住宅型有料老人ホーム、通所介護事業所を経営しており、入部して間もない新入部員です。

「青年部活動に参加して」をテーマに、熊本地震を経験して感じたこと、地域への思い、後世に伝えることの重要性、青年部の役割などを発表しました。

結果は残念ながら最優秀賞を逃しましたが、災害を経験したからこそ出来る行動や与えられた役割、経営者としての心構えを改めて考えさせてくれる素晴らしい発表でした。最優秀賞には、「私を成長させてく

れた青年部活動」をテーマに発表した、南小国町の佐藤俊一部員が受賞しました。

主張発表大会終了後は、「商工会が地域を変える」をテーマに南小国町観光協会の平野直紀会長が基調講演を行い、観光の視点から見た商工会、青年部の役割の重要性について話されました。

研修会終了後は、林檎の樹に移動して大懇親会が開催され、青年部間の親睦をさらに深めることができました。

これから、ラグビーワールドカップの開催や新阿蘇大橋の開通、商工会青年部全国大会の熊本開催など目白押しです。

阿蘇地域はもちろんのこと、熊本県内の青年部員が一体となって家業の発展と地域の復興に向けて突き進んでいきたいと思っています。



南阿蘇 消費者 相談室から Vol.73

『アポ電』かも…

知らない番号からの電話に出るのは危険!!

【事例1】

テレビの制作会社を名乗る人から電話があり、「所得は500万より上ですか」などと聞かれたが、「答えられない」と言って電話を切った。後日、警察の協力団体を名乗る者から、「テレビ番組に関して電話がなかったか。捜査で押収した名簿に名前が登録されている」という電話があった。

(70歳代女性)

【事例2】

消防署の職員を名乗る人の電話で、「二人暮らしか」と聞かれ、「はい」と答えてしまった。「災害時にすぐに救助できるように確認している」と言われたが不審だ。

(女性)

● 実在する機関や企業、家族をかたまり、家族構成や資産状況などを聞き出すとする「アポイントメン

【お問い合わせ】

南阿蘇消費者相談室
Tel (67) 2244
相談日 火曜・木曜日
午前10時～午後3時
旧久木野庁舎
※巡回相談日を除く
高森町消費者相談室
Tel 0967 (62) 1111
相談日 月曜・水曜・金曜日
午前9時～午後4時

ト電話一と思われる電話に関する相談が急増しています。情報を元に、振り込み詐欺へと繋がります。

● 着信番号通知や録音機能を活用し、誰からの電話かわかった上で電話に出るようにしてトラブルを避けましょう。

● 心当たりのない着信に出てしまった場合も、自分の名前を名乗らないことが大切です。家族構成や資産状況を聞かれたら、会話を続けず、すぐに電話を切ってください。

● 特に高齢者などに対しては、家族はもちろん地域でも、身近な人を見守り、様子の変化などに気をつけましょう。

不審な電話があった時は、すぐに南阿蘇消費者相談室にお知らせください。